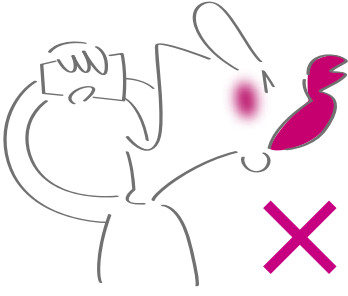


# 酔いつぶれた人の命を救う 4 回のチャンス

①



## イッキはさせない。泥酔させない。

短時間に大量のアルコールを摂取すると、アルコール血中濃度が急激に上昇し、急性アルコール中毒になります。はやしたてて飲ませたり、ノリで泥酔させたりすることは、命を危険にさらしていることと同じです。

②



## 酔いつぶれた人を絶対に一人にしない。

泥酔した人を一人にすると何が起きるかわかりません。窒息、転落、水死、凍死、交通事故などの危険にあうのです。「息苦しそう」「全身が冷たい」「大イビキをかいている」「つねっても反応しない」。これは危険信号です。見逃さないために、しらふの人が必ずそばについてください。

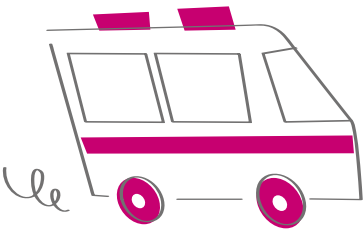
③



## 横向きで自然に吐かせる。

酔いつぶれた人を抱き起こして、無理に吐かせるのはとても危険。吐いたものが喉に詰まって窒息することもあるのです。急性アルコール中毒では窒息死が大半なのです。寝かせる時は、横向きに！吐いたものが自然に口から出て、窒息は防げます。けれど、横向きに寝かせたからといって安心して一人にしてはいけません。いつ仰向けになるかわかりません。必ず誰かがそばで見守ってください。

④



## おかしいと思ったら、ためらわず救急車を。

耳元で名前を呼んでも、つねっても体をゆすっても反応がなかったら昏睡状態です。その人は今「死」と紙一重の状態です。「コトを大きくしたくない」などと世間体を気にしている場合ではないのです。すぐに救急車を呼びましょう。わずかにためらったせいで、助かる命も助からなくなります。

## チェック



## すぐに救急車を呼ぶべき状態

1. 大イビキをかいて、ギュッとつねっても反応がない。
2. ゆすって呼びかけても、まったく反応がない。
3. 体温が下がり、全身が冷たくなっている。
4. 倒れて、口からあわをふいている。
5. 呼吸が異常に早くて浅い。または、時々しか息をしていない。



泥酔の危険性をサイトでくわしく解説。  
イッキ飲ませやアルハラの情報も。

イッキは命にかかわる飲ませ方です。

